

限られた敷地を有効に生かしながら 入居者へのサービスを向上させるトイレ。



ユニットごとに設けられたトイレ。限られた空間を上手に利用するため、掃除口付きコンパクト便器が設置されている（大便器の側面に見える円い「ふた」が掃除口）。洗面台のプッシュ式オートストップ水栓は、麻痺のある方や握力の弱い方には使いやすい。

福岡県宗像市に2002年に開設され、高齢者の生活を支えている、特別養護老人ホーム「あかま」。デイサービスや居宅介護支援、ホームヘルプサービスも行なうなど、さまざまな形で地域に貢献。家庭的な温もりのある施設では、スタッフの方々の接し方もすばらしいと評判になっています。2013年5月に、それまでの本館の70室に加えて、ユニット型の50室を増築してスタート。限られた敷地の中で工夫された増築によって、さらに地域の人々の期待に応える環境が整備されました。

家庭的な温もりを大切にした環境で、 排泄のリズムにまで細やかな心配りがある。

新しく増築されたユニット館は、1Fが20室、2Fが30室。それぞれ10室ごとの1ユニットを基本に、在宅の暮らしの継続に配慮した家庭的なケアのできる環境が整えられています。限られた空間を上手に活用するため、トイレにはコンパクト設計の大便器を採用。また、掃除口付きであるため、これまでにあったパッドを流して詰まらせたり、入れ歯を落としてしまうなどのケースにも、スタッフが簡単・迅速に対応できます。

また当施設では、できるだけトイレで排泄できる介助も心がけられ、「その人の排泄のリズムを把握して、決まった時間帯にトイレに座られることを促してみたりもします。その時に排泄できなくても、他のところで健康面に良い影響が出ることもあります（介護職員の方のお話）」と、トイレの重要性が認識されています。



左に見えるのが本館。右が今回増築されたユニット館で、本館と廊下でつながっている。



ユニット館に設けられた浴室。入浴は基本的に個浴とし、個のやすらぎを大切にしている。

【特別養護老人ホーム あかま ユニット館 増築工事】

- 竣工年月／2013年4月
- 所在地／福岡県宗像市田久3-11-1
- 施主／社会福祉法人 久寿福祉会
- 設計／株式会社メイ建築研究所
- ユニット数／1ユニット個室10室
5ユニット 計50室を増築
- 延床面積／1,715m²



介助浴室にはリフトなどの設備が設けられ、安全で快適な入浴をサポートしている。

Voice 設計担当の方からの声

掃除口付き便器なら、スタッフの心配を軽減できますね。



株式会社メイ建築研究所
設計主任

塚原佐和美さん(中央左)

敷地に制限のある中で、各ユニットの独立性を保ちながら、コンパクトで迷わない、単純なゾーニングを心がけました。トイレのスペースは既存より少し狭いのですが、車いすで利用できる広さを確保しました。また、床材を立ち上げた巻上巾木を採用するなど、清掃メンテナンスのしやすさにも配慮しています。

入居者のことを考えるのはもちろんですが、さまざまな面でスタッフの働きやすさにも配慮しています。掃除口付きの大便器を採用したこともその一つ。詰まるたびに業者さんを呼ぶのもたいへんですからね。私たちは、高齢者施設や病院のトイレには掃除口付きを使っていますから、フラッシュバルブ式だけではなくコンパクトなタンク式も出たことは、とても助かりました。



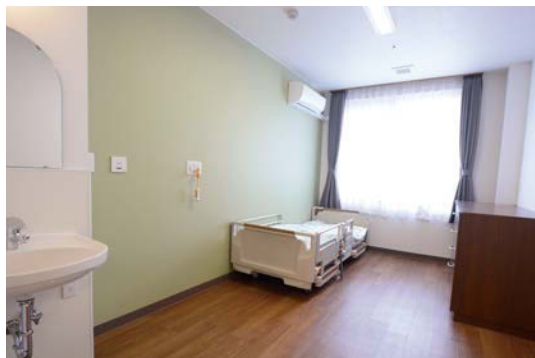
リビングは、ユニットごとの食事や憩いの場。各ユニットの名前を、桜、藤などの季節感のある花の名前とし、リビングのクロスは植物の柄をユニットで変えている。

介護職員さんによる トイレに関するメモ

(井上芳恵さん、真崎満夫さん)



- ☐ 前方アームレストは、体を支えることができ安心感・安定感があります。排便が長い時など、寄りかかることができラクだと入居者様に好評です。
- ☐ 背もたれによって、座位保持が難しい方でも、安楽な状態で排泄が行えます。クッションが付いて柔らかいので、痛くなくて良いとのこと。
- ☐ 跳ね上げ手すりは、車いす使用時に上げ下げできて介助しやすいです。
- ☐ 紙巻器が跳ね上げ手すりに付いているので、どこにあるか分かりにくい様子もあります。しかし、紙巻器を壁に取り付けると、手すりやアームレストを使う際に肘が当たったり、小柄な方は頭を打ってしまう場合があり、そうした心配はなくなりました。



ユニットの個室。洗面台が入口近くに設けられている。ベッドの頭の位置は、その人に合わせて窓側にしたり廊下側にしたりしている。



各ユニットの独立性を大切に、普段はユニット間にある折戸タイプの間仕切りを閉じて利用している。



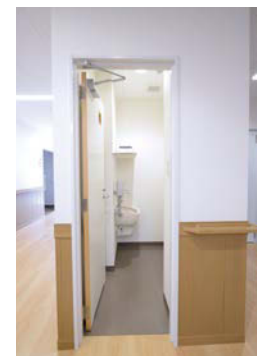
夜間はスタッフの見通しをよくするために、間仕切りを開放。廊下の手すりは肘で寄りかけられる形状にしている。



オストメイト対応の多機能トイレ。小便器での排泄を望む人にも応えられる、十分な広さを確保した空間となっている。



車いすのフットレストが当たらずに使いやすい洗面カウンターが、リビングの前に設けられている。



汚物室に汚物を運ぶ時はバッグに入れるなど、細やかな心配りも。